

取扱説明書

シャイデック[®] MT-E

SCHEIDEGG MT-E

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書(以下「本説明書」といいます)は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

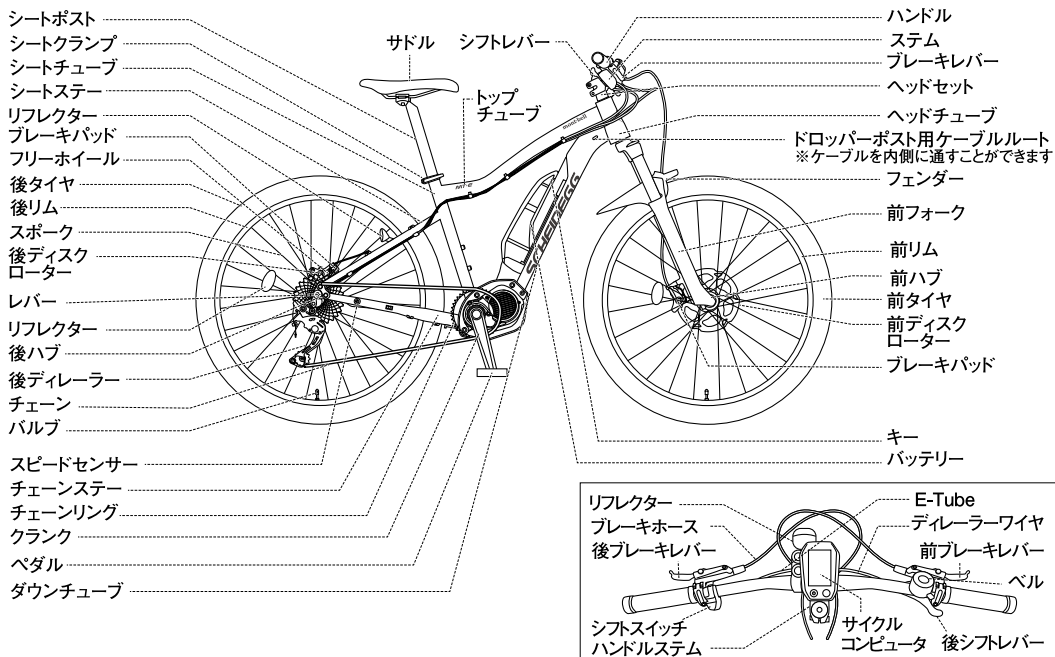
■ 特長

本製品は、剛性に優れた異形断面チューブや高性能フロントフォークを備え、抜群の走破性を発揮する車体に、高出力電動ドライブユニットを搭載したスポーツバイクです。急な上り坂では力強いトルクを発揮し、ロングライド時はスムーズに加速をサポートします。

はじめに

- 本製品は、道路交通法で定めるハンドル幅が普通自転車の横幅規定600mmを超えているため、自転車走行可の歩道は走行できません。原則として車道を走行してください。その他「自転車を除く」と道路標識に記載のある場合も、普通自転車としての扱いをされませんので、標識の指示に従ってください(例:進入禁止等)。また、自転車専用道路の走行については各自治体によって扱いが異なりますので走行する各自治体にご確認ください。
- 本製品は、日本国内以外の交通法規には適合していない場合がございますので、日本国内以外で使用しないでください。

■ 各部の名称

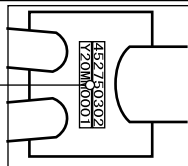


■ シリアルナンバー

○シリアルナンバーは、ボトムブラケット後側に刻印されています。

※シリアルナンバーは、防犯登録に必要です。

シリアルナンバー



■ 車体に関する安全上の注意

必ずお読みください

危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- 本製品の分解・改造はしないでください。
- 酒気を帯びた状態や疲れが激しいときには乗車しないでください。
重大な事故を起こす恐れがあり、大変危険です。(酒気帯び運転は道路交通法で禁止されています。)
- ヘッドフォンやイヤフォンを使用しながら走行しないでください。
周囲の音が聞こえにくくなり、事故を起こす原因となります。(道路交通法で禁止されています。)
- 乱暴な乗り方はしないでください。
階段や縁石の乗り降りなど凹凸の激しい場所での走行はおやめください。自転車が故障し、事故やけがの恐れがあります。
- 片手運転や手放し運転、傘さし運転をしないでください。
障害物をよけたり止まることができず、事故やけがの原因となります。必ず両手でハンドルを握ってください。
また、傘さし運転や傘立てを使用しての運転は、傘で前方が見えづらだけでなく、風であおられやすくなり、大変危険です。雨や泥はねを防ぐためにはレインウェアを着用してください。
- 傘やステッキ、釣りざおを車体に差し込んだり、つりさげて走行しないでください。
車輪に巻き込んだり、他の人や物にぶつかることで、思わぬ事故やけがを引き起こす原因となります。
- 自動車のすぐうしろに続いたり、自動車などにつかまって走行しないでください。
重大な事故を起こす恐れがあり、大変危険です。
- 渋滞している自動車の前に割り込んだり、車間をめて走行したりしないでください。
重大な事故を起こす恐れがあり、大変危険です。

警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 自転車に乗る際は安全のためにヘルメットを着用してください。
- 停車中は、前後ブレーキをかけた状態にし、ペダルに足を乗せないでください。
不用意なアシスト力が働き転倒や接触事故によるけがの恐れがあります。
- 発進時または低速走行時は、ペダルを強く踏み込まないでください。
思わぬ急発進やアシストの働きにより転倒や衝突事故によるけがの恐れがあります。
⇒強く踏み込まなくても、楽に発進することができます。
- ハンドルに物を吊り下げた状態で走行しないでください。
車輪に物が巻き込まれたり、バランスをくずすなどして転倒し、事故やけがの原因となります。
- 犬などを引いて走行しないでください。
不意の犬の動きなどにバランスをくずすことで転倒し、事故やけがの原因となります。
- 他の自転車との並走、ジグザグ運転、競争をしないでください。
重大な事故を起こす恐れがあり、大変危険です。
- 乗車前に必ず各部の点検をしてください。
経年劣化などにより、思わぬ事故を起こす恐れがあります。
摩耗したリムは走行中に破損し、転倒して事故やけがの恐れがあります。
- 転倒や衝突などにより、大きな衝撃が加わった場合は使用を中止して販売店にご相談ください。
- 積雪や凍結した滑りやすい道などでは乗らないでください。
スリップにより転倒し、事故やけがの原因となります。
- 停止中の自動車にも注意してください。
ドアが開いて進路がふさがれる恐れがあります。
- 安全な服装で乗車ください。
長いマフラーやスカート、裾の広がっているパンツなどは車輪やチェーンなどの巻き込みにより転倒、けがの恐れがあります。



注意

人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 走行目的以外に使用しないでください。
けがの原因となる場合があります。
- 前ブレーキのみを強くかけないでください。
前輪がロックし、事故やけがの原因となる場合があります。
- 正しいお手入れ、保管方法を守ってください。

■ バッテリー・充電器に関する安全上の注意

必ずお読みください

※付属の「SHIMANO STEPS ユーザーマニュアル」の注意書きを必ず併せてご覧ください。

なお、最新版については「<http://si.shimano.com>」からご確認ください。



危険

人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

バッテリーについて

- バッテリーは(+)と(－)を金属などで接触させないでください。
ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しないでください。発熱・発火・破裂の原因となる恐れがあります。
- 火への投入、加熱をしないでください。
発熱・発火・破裂の原因となる恐れがあります。
- 火のそばなど高温の場所で充電・使用・放置しないでください。
発熱・発火・破裂の原因となる恐れがあります。
- クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
発熱・発火・破裂の原因となる恐れがあります。
- シマノ製電動アシスト自転車専用の充電式バッテリーです。対応製品以外に使用しないでください。
発熱・発火・破裂の原因となる恐れがあります。
- 専用の充電器以外は使用しないでください。
発熱・発火・破裂の原因となる恐れがあります。
- 落下させないでください。
発熱・発火・破裂の原因となる恐れがあります。
- 再生・リサイクルバッテリーは使用しないでください。
発熱・発火・破裂の原因となる恐れがあります。
- 6時間を超えてバッテリーを充電しないでください。
発熱・発火・破裂の原因となる恐れがあります。

充電器について

- 対応の電動アシスト自転車バッテリーの充電以外の使用は絶対しないでください。
バッテリーの液漏れ・発熱・破裂によるけがの原因となる恐れがあります。



警告

場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

バッテリーについて

- バッテリーを付けたまま自転車を運搬しないでください。
自動車への積載時など、運搬の際に不意にペダルが押された場合にセンサーが感知して、車輪が回転し、巻き込まれてけがをする恐れがあります。
- 傷ついたまま使用しないでください。
ケースなど、破損したまま使用するで液漏れの恐れがあり、目に入った場合失明する恐れがあります。また、水の浸入により発煙・発火の恐れがあります。
- 大雨などで自転車本体(バッテリー部)が水につかった場合は使用しないでください。
不意にアシストが停止する場合があります、バランスを崩し、転倒によるけがの恐れがあります。

充電器について

- 電源コードや充電コードを充電器本体に巻きつけて保管しないでください。
電源コードや充電コード・プラグが断線し、感電・故障・火災の原因となる恐れがあります。
- 充電中は上に物を置いたりしないでください。
内部が発熱し、火災の恐れがあります。
- 充電中は引火の恐れがあるものを近づけないでください。
スパークし、火災や爆発の原因となる恐れがあります。
- 分解、改造は絶対しないでください。
充電時、バッテリーの液漏れ・発熱による火災の恐れがあります。
- 以下のようなことはしないでください。
・衝撃を与えること ・落下 ・水ぬれ ・高温度な場所（屋外・浴室・洗面所や水がかかる場所）での使用（発熱・発火・感電の恐れがあります。）
- 充電プラグの端子を金属でショートさせないでください。
発熱・発火・感電の恐れがあります。
- 幼児やペットが触れる所に放置しないでください。
幼児やペットがコードを噛み、感電・故障・火災の原因となる恐れがあります。
- 充電中は引火の恐れがあるものを近づけないでください。
内部が発熱し、火災の恐れがあります。
- 電源コードや電源プラグ・充電コードや充電プラグ・ケースを破損するようなことはしないでください。
（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものに乗せる、束ねる）
痛んだまま使用すると、感電・故障・火災の原因となる恐れがあります。
⇒電源コードや充電コードなど単体での修理・交換はできません。電源コードや充電コードなどが痛んだ場合、販売店にご相談ください。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、家庭用の交流 100V 以外での使用はしないでください。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となる恐れがあります。
- ぬれた手で電源プラグや充電プラグの抜き差しはしないでください。
感電の恐れがあります。
- バッテリーを自転車に取り付けた状態で充電する場合は屋外で充電しないでください。また、自転車・充電器本体は不安定な場所で充電しないでください。

■ 交通ルール

法律の一部のみを記載しています。ご自身が十分ご理解のうえご乗車ください。
また、法律は変更される場合があります。

通行する上での主な交通ルール

- 信号機に従う義務
自転車は、道路を通行する際は、信号機などに従わなければいけません。特に、横断歩道を進行して道路を横断する場合や、歩行者用信号機に「歩行者・自転車専用」の標示のある場合は、歩行者用信号機に従わなければいけません。
- 並進の禁止
自転車は、道路標識などにより認められている場合を除き、他の自転車と並進してはいけません。
- 道路外に出る場合の方法
自転車は、道路外に出るため左折するときは、あらかじめその前からできる限り道路の左側端に寄り、かつ、徐行しなければいけません。また、自転車は道路を右側に出ようとする場合であっても、道路の中央（当該道路が一方通行の場合は右側端）を通行してはいけません。
- 自転車の横断の方法
自転車は、自転車横断帯がある場所の付近においては、その自転車横断帯によって道路を横断しなければいけません。また、歩行者または他の車両などの正常な交通を妨害する恐れがあるときは、横断などをしてはいけません。
- 進路変更の禁止
自転車は、みだりにその進路を変更してはいけません。
- 踏切の通過
自転車は、踏切を通過しようとするときは、踏切の直前で停止し、安全を確認しなければいけません。

○左折または右折の方法

自転車は、左折するときは、あらかじめその前からできる限り道路の左側端に寄り、かつ、できる限り道路の左側端に沿って徐行しなければいけません。また、右折するときは、進行車道の左端から一旦交差点を直進し、渡った先で方向を右に変え、右折先の信号が青になってから直進します（いわゆる二段階右折をしなければいけません）。

○交差点の通行方法

自転車は、交差点を通行する場合において、付近に自転車横断帯があるときは、当該自転車横断帯を通行しなければいけません。また、信号機がない交差点などにおいて、狭い道路から広い道路などに出るときは、交差道路などを通行するほかの車両の進行を妨害しないようにするとともに、徐行しなければいけません。さらに、交差点内を通行するときは、状況に応じてほかの車や歩行者に注意してできる限り安全な速度と方法で進行しなければいけません。

○徐行すべき場所

自転車は、道路標識などがある場合のほか、左右の見通しが利かない交差点などを通行しようとするときは、徐行しなければいけません。

○一時停止すべき場所

自転車は、道路標識などにより一時停止すべきとされているときは、一時停止しなければいけません。

○夜間のライトの点灯など

自転車は、夜間およびトンネル内ではライトを点灯しなければいけません。また、リフレクター（反射器材）を備えていない自転車（尾灯をつけているものを除く）を夜間に運転してはいけません。

○警音器（ベル）の使用

自転車は、左右の見通しの利かない交差点や見通しの利かない曲がり角などであって、道路標識などにより指定された場所などを通行しようとするときは、警音器を鳴らさなければいけません。ただし、上記のような場合以外には、危険を防止するためやむを得ないときを除き、警音器を鳴らしてはいけません。

○2人乗りの禁止

自転車は原則として2人乗りをしてはいけません。

○ブレーキの備え付け

前輪及び後輪にブレーキを備え付けてない自転車を運転してはいけません。

○酒気帯び運転などの禁止

酒気を帯びて自転車を運転してはいけません。また、酒気を帯びている者に自転車を提供したり、飲酒運転を行う恐れがある者に酒類を提供したりしてはいけません。

○片手運転の禁止

携帯電話の通話や操作をしたり、傘をさしたり、物を担いだりすることなどによる片手での運転は、不安定な運転になるのでしてはいけません（また、そのような行為自体を禁止している都道府県もあります）。

■ 初回点検と定期点検

○お買い上げいただき使用開始後2カ月以内に販売店で点検をお受けください。

○ご使用一年ごと、及び異常を感じた際は販売店で点検をお受けください。

■ 使用前の点検

使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。

○異常を感じた際は、ただちに使用を中止し、販売店もしくは（株）モンベルカスタマー・サービスまでお問い合わせください。

○ブレーキ等の安全上重要な構成部品については、純正交換部品を使用する必要があります。部品が消耗した際には、販売店もしくは（株）モンベルカスタマー・サービスまでお問い合わせください。

☐ フレーム・前フォーク	変形、破損、ひび割れはないか ヘッドセット、ドライブユニットにガタや摩耗はないか
☐ ハンドル	固定は確実か、高さ、ステムの挿入量は適切か
☐ タイヤ	変形、破損はないか 固定は確実か、前フォーク、シートステー、チェーンステーに接触していないか 切傷、摩耗はないか、空気圧は適切か ※タイヤ側面に記載されている空気圧を保ってください。

☐ リム	変形、振れはないか
☐ スポーク	ゆるみ、折れ曲がり、破損はないか
☐ ハブ	ガタつきがないか
☐ クランク	チェーンリングの振れ、ヒビ、曲がりはないか
☐ ペダル	固定は確実か、取付部（クランク側）にバリはないか 軸の回転は正常か、変形、カシメ、ねじのゆるみ、ガタ、破損はないか

☐ ブレーキ	レバーの引き代に余裕はあるか、オイル漏れはないか レバーを引いた時にハンドルとの隙間が1/2～2/3になるまでにブレーキが効くか ブレーキパッドの残りが0.5mm以上あるか
☐ ディレーラー	スムーズに変速するか
☐ チェーン	油切れ、たるみはないか、ギヤとの噛み合わせは適切か
☐ サドル	固定は確実か、高さ、シートポストの挿入量は適切か ガタ、破損はないか
☐ ライト※別売	点灯、照射は正確か、破損はないか

☐ リフレクター	汚れ、ガタ、破損はないか
☐ 警音器 (ベル)	作動は正常か、変形、ゆるみはないか、よく鳴るか
☐ サイクル コンピューター	ひび割れはないか コードに断線や損傷はないか 正しく起動するか
☐ バッテリー	ひび割れや変形はないか しっかりと車体にはまっているか
☐ その他	各部のねじのゆるみ、損傷はないか 車体を10cmほど持ち上げて、軽く落とした際に異常な音がしないか

■ 使用方法 各種調節につきましては、販売店に依頼されることをお勧めします。

サイクルコンピューター、バッテリー、充電器に関する使用法は付属の「SHIMANO STEPS ユーザーマニュアル」をご覧ください。
なお、最新版については「<http://si.shimano.com>」からご確認ください。

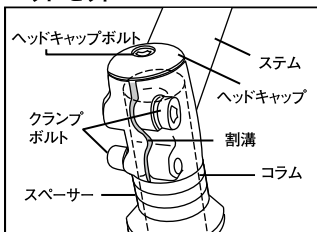
正しい使用条件

乗 員 体 重…65kg ※乗員体重は、この自転車を設計する上で想定した標準的な乗員の体重です。
 ※著しくオーバーした体重の方が使用された場合は消耗度合、劣化度合が大きくなります。
 ※本製品に幼児用座席の取付はできません。
 ※本製品にはキャリア(荷台)の取付はできません。

○電源を ON にする時は、ペダルに足を置かないでください。システムエラーが発生することがあります。

ハンドルの高さ調節

ヘッドセット



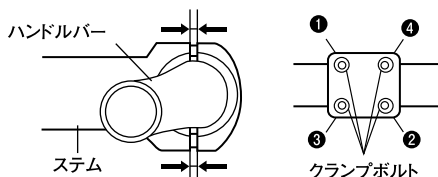
- ①ヘッドキャップボルトを緩めヘッドキャップを取り外す。
- ②クランプボルトを緩め、ステムを取り外す。
- ③スペーサーを好みの高さまで抜く。※販売時より高くすることはできません。
- ④ステムを戻して、抜いたスペーサー、ヘッドキャップの順で被せる。
- ⑤ヘッドキャップボルト、クランプボルトの順で締める。
クランプボルト締付トルク 14～15N・m (140～150kgf・cm)
- ⑥緩みやガタつきがないか確認する。

⚠ 注意

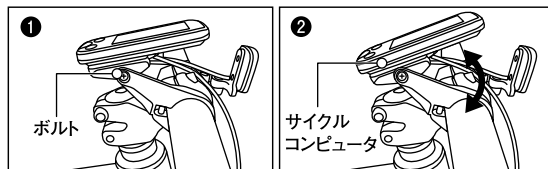
ステムの割溝から見て、コラムの上部が上側のクランプボルトよりも上に出ていること。これが守られていないとコラムが折れる恐れがあります。

●ハンドルバーの締付け

六角レンチで、上下のすき間が均等になるように、上下のクランプボルトを 1→2→3→4 の順に対角線上を 2～3回に分け交互に締付けてください。
 締付トルク 9～10N・m (90～100kgf・cm)

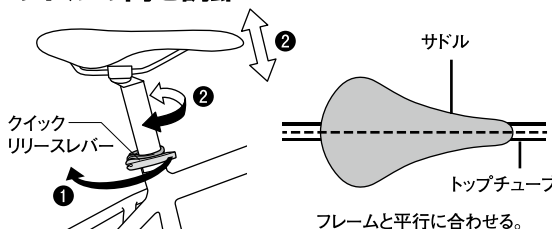


サイクルコンピュータの角度調節



- ① お持ちのプラスドライバーを使って左右のボルトを緩めます。この時ボルトを完全にはずす必要はありません。
- ② サイクルコンピュータをお好みの角度に調節した後、①と逆の手順でボルトを締めます。

サドルの高さ調節



- ① シートクランプのクイックリリースレバーを手前に起こす。
- ② サドルを好みの高さに調整する。この時フレームと平行になるように合わせる。
- ③ クイックリリースレバーを倒す。
- ④ 緩みやガタつきがないか確認する。

サドル固定ボルト締付トルク $9 \sim 10 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($90 \sim 100 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$)

クイックリリースレバー締付トルク $6 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($60 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$)

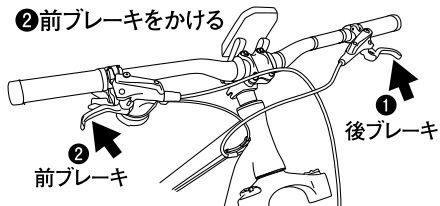
注意

シートポストは、はめ合わせ限界標識が見えるまで上げないでください。シートポストが折れて転倒によるけがの恐れがあります。また、最低サドル高は地面からサドル上部で 790 mm です。



ブレーキのかけ方

- ① 後ブレーキを先にかける
- ② 前ブレーキをかける



注意

- 急な上り坂の場合は降りて車体を押してください。
- 下り坂の場合は、適時にブレーキをかけながら速度が出過ぎないように走行してください。
- 下り坂の手前ではブレーキテストを行ってください。
- 急ブレーキをかけなくてもいいように、いつも前方に注意してください。
- 雨天時には制動距離が長くなります。余裕を持ってブレーキをかけるようにしてください。

変速の方法

速度や坂の勾配に応じて変速することができます。下記の方法に従って変速の操作を行ってください。

○シフトレバーの操作

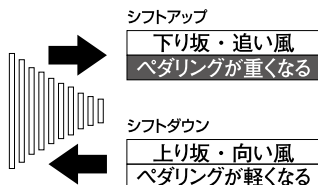
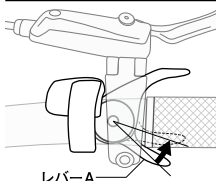
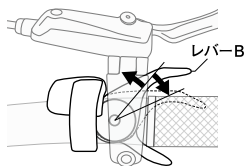
- ・親指を使ってレバー A を押す。
- ・人差し指でレバー B を引く、もしくは親指で押す。



上記の方法でシフトダウンとシフトアップを行います。

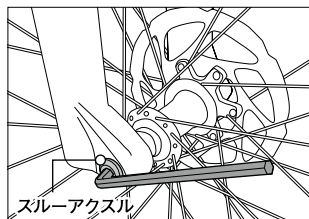
シフトアップ (ベダリングが重くなる)

シフトダウン (ベダリングが軽くなる)

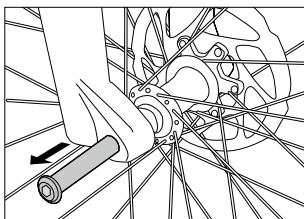


ホイールの着脱方法

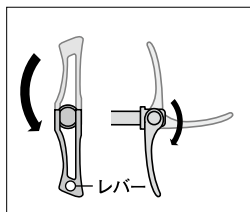
○ホイールの外し方(前輪)



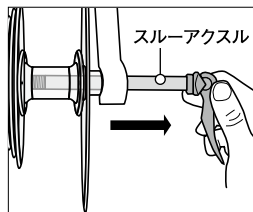
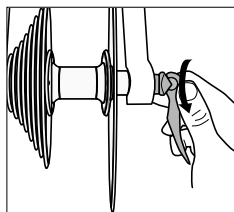
①前フォーク右側のスルーアクスルのボルトを6mmの六角レンチで反時計回りに回して緩めます。



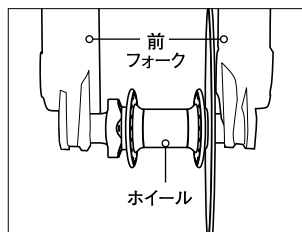
○ホイールの外し方(後輪)



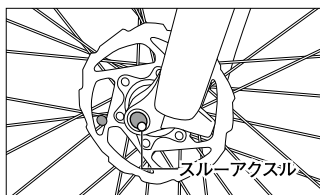
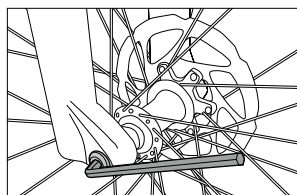
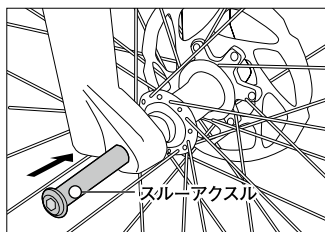
①レバーに表記の矢印 (OPEN) の方向へ倒します。



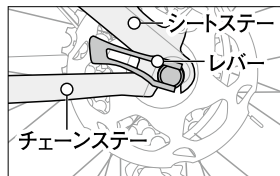
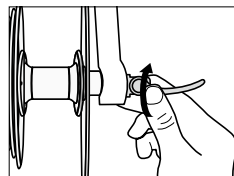
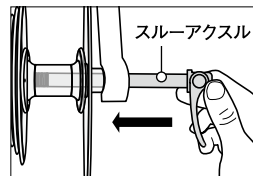
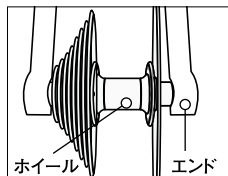
○ホイールの取り付け(前輪) ※必ず付属のスルーアクスルを使用し、他のスルーアクスルは使用しないでください。



①ディスクローターの位置に注意して、ホイールを前フォークにはめ込みます。



○ホイールの取り付け(後輪) ※必ず付属のスルーアクスルを使用し、他のスルーアクスルは使用しないでください。



①ディスクローターの位置に注意して、ホイールをエンドにはめ込みます。

②スルーアクスルをエンドとホイールに完全に差し込みます。

③レバーを半分閉じた位置で、やや固くなるように時計回りに締めます。

④レバーがシート・チェーンステーの中央にくる位置でレバーに表記の矢印(CLOSE)の方向へ倒してください。その後、しっかりと固定されているか確認してください。

■ お手入れ方法

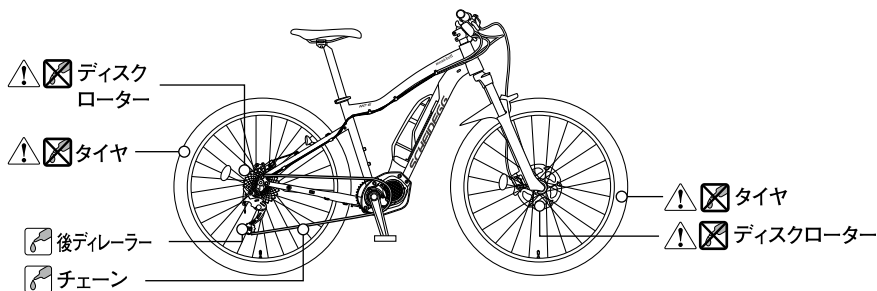
間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。頑固な汚れには、市販の自転車用洗剤を使用してください。汚れがひどい場合は水洗いし、よく乾燥させてください。
- 塗装部(フレーム)などは乾いた布で良く磨き、ワックスをかけ、乾いた布で拭き取ってください。
- 湿気の多い所や海岸沿いで保管する場合はさびやすいので、お手入れの回数を増やしてください。
- シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。塗装が剥げたり、樹脂製部品が浸食される恐れがあります。
- サドルにワックスをかけないでください。座った時に衣服が汚れたり、滑る恐れがあります。

注油方法

- 必ず自転車用油を使用し、余分な油は乾いた布等で拭き取ってください。

 **注油箇所** この記号の箇所に注油してください。  **注油禁止場所** この記号の箇所には絶対に自転車用油を付けしないでください。



■ 保管方法

- 本製品が倒れにくい安定した場所に保管してください。
- 直射日光や雨等がかかりにくい場所に保管してください。また、市販のサイクルカバーのご使用をおすすめします。
- 寒冷地では水分が凍って各部の動作が悪くなる場合があります。凍結防止のため、暖かい場所で保管してください。
- タイヤの空気圧を適正にして保管してください。空気圧が低いと、タイヤに潰れ癖がつく恐れがあります。
- 公共の場所では指定された駐輪場に停めてください。また、放置などはおやめください。

■ 廃棄方法

- 廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

■ 仕様

品番	#1130060	ドライブユニット	SHIMANO DU-E8080
品名	シャイデック® MT-E	バッテリー	SHIMANO BT-E-8010 (日本仕様)
フレーム	アルミニウム合金		

※付属品 バッテリー、充電器、リフレクター、ベル、六角レンチ (4mm×1, 5mm×1, 6mm×1)、E-tube接続ツール、鍵2本、ペダル

○充電走行距離の目安 ECOモード 140km / NORMALモード 130km / HIGHモード 95km

※一般社団法人自転車協会が定める標準パターン走行時の走行距離

○補助速度範囲 24km/h未満

○充電時間 約5時間 (0%→100%) 約2.5時間 (0→80%)

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには若干の誤差が生じる場合があります。

■ 保証規定

本保証書は、株式会社モンベル (以下「当社」といいます。) が本保証書記載の保証規定の定めに従って無料修理または修理が困難であれば部品の交換 (以下、「保証修理」といいます。) をお約束するものです。

なお、交換した不具合部品は当社の所有となります。

本保証書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

保証期間経過後の保証修理などについては、お買い上げ販売店、または (株) モンベル カスタマー・サービスにお問い合わせください。

1. 保証期間 (4 項に該当するものを除きます)

新車の自転車 (以下「自転車」といいます。) を販売した日から 1 年間保証します。

2. 以下に示すものの費用は、お客様の負担となります

- (1) 保証対象外部品 (消耗品) の交換・修理。
- (2) 点検調整・清掃。

3. 保証修理を受けるための条件と手続き

- (1) 保証修理を受ける場合、本保証書と自転車をお買い上げ販売店にお持ちください。本保証書の提示がない場合は、保証修理を受けられません。
- (2) 本保証書は、使用者が字句などを書き換えた場合、無効となります。
- (3) ご贈答、ご転居の場合については、お買い上げ当社販売店、またはモンベル・カスタマー・サービスにお問い合わせください。
- (4) 本保証書は、日本国内で使用される自転車であり、かつ、シリアルナンバーの刻印があるものに限り適用されます。また、本保証書は国内でのみ有効です。

4. 保証できない事項

次に示すものに起因する故障は、保証修理の対象となりません。(ご使用者様のご負担になります)

- (1) 使用者の使用上の不注意や駐車時の転倒または取扱説明書に従わない使用、取扱いによるもの。
- (2) 衝突、転倒、道路の縁石などに乗り上げ、または溝などに落ちて生じたもの。
- (3) 法令の違反行為によって生じたもの。(2人乗り、夜間時の無灯火など)
- (4) レンタルなど、不特定多数で使用される場合。
- (5) 火災、地震、落雷、水害など、天災、地変、人災によって生じたもの。
- (6) 本製品を改造したり当社で設定した部品以外の部品を使用したため生じたもの。
- (7) 一般に自転車が走行しない未舗装路などでの走行または使用目的以外の酷使により生じたもの。
- (8) 整備の不備や故障したまま使用したことにより生じたもの。
- (9) 当社が指定する定期点検調整を実施しなかった場合。
- (10) 保管場所の不備または手入れ不十分により生じた塗装面、メッキ面のはく離、さび、その他これに類する不具合およびプラスチック部品などの自然退色。
- (11) 部品の通常の摩耗、または疲労と認めたもの。
- (12) 機能上影響のない感覚的な現象。(音、振動、油のにじみなど)
- (13) 使用中に生じたキズ、破損による外観の変化。
- (14) 不当な改造や修理による損傷又は故障。
- (15) 自転車の故障に起因する付随的な費用。(お買い上げ当社販売店に自転車を持ち込むために要した費用など)

5. 部品の保有期間

保証期間経過後でも性能を維持するための補修用機能部品はお買い上げ当社販売店、または当社にて保有しております。ただし、保有する部品が新型に切り替わった場合は、新型で保有しておりますので、あらかじめご了承ください。

6. 本保証書は、本保証書に明示した期間、条件に基づき保証修理をお約束するものです。従って、本保証書は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7. コンポーネントの保証について

- (1) 各パーツメーカーの保証内容に従ってそれぞれのメーカーが保証します。

保証書

お買い上げ日 年 月 日 No.

販売店押印欄(レシート貼付け)

MEMO